

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | あいわの里アネックスセンター | | | | 公表日 | 令和7年2月10日 |
|----------|--------|--|-----|---------|---|---|-----------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 活動に合わせて、ホールを使用したり、園庭を使用したり、子ども達の動きが制限されないよう工夫を行っている。 | 使用が終了した活動用品の処分や片付けを定期的に行い、適切な環境を維持していきたい。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | その日の子どもの利用人数や状態に応じて職員の配置数は流動的に対応している。急な職員の休みには活動の変更等に対応することもある。 | 日によっては職員不足を感じる時があるため、増員の必要性を感じる。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | トイレが車椅子対応で広いスペースを取っている。低い手洗い台等、子どもが使い易い設備となっている。 | どの子にも分かりやすい環境となるよう、定期的な検討・見直しを行っていきたい。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 清掃チェック表を使用し清潔保持に努めている。絨毯部分のところがフローリング床材へ変更した。以前より清潔保持がしやすくなった。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 音に過敏な子どもや、気分が落ち着かない状態の子どもには、静かに過ごせるよう別室や個室を提供している。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | 意識的に取り組むことで、より業務改善を進めていけたらと考えている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 評価の結果を十分に活用できていないので会議やミーティングの際に活用し、業務改善につなげていきたい。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 定期的な会議やミーティングが意見交換の場となっている。また、日頃から業務について意見交換しやすい雰囲気作りを心掛けている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 外部評価の機会を設けてもらいたい。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 月に1回、様々なテーマで内部研修を行っている。内部研修は計画的に行っている。 | 年間計画をたてて内部研修を行っているが、その時々で必要な研修は計画外でも行っていきたい。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 支援プログラムは1/10に作成しご家族様へ配布している。ホームページへの掲載も依頼済み。（近日程に掲載予定） | | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | ご家族様とは送迎の際に情報交換することが出来る。 | じっくりとお話をする機会をもっと増やしていきたいと検討中。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 日々の振り返りや、会議での意見も参考に、子どもの思いや姿を具体化し検討を重ねている。 | 議題に上がる子どもに偏りが出ないように計画的に検討をいってきたい。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 会議を利用し活動の立案を行っている。また、（職員不足などにより）急な変更が必要な場合は、複数職員で変更内容を検討している。 | 急なグループ配置の変更を想定して、職員の配置は固定化しすぎないように会議などで検討が必要。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 利用予定を予め確認することで、その日の利用メンバーに合った活動を検討している。 | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 毎日、送迎担当を含めた業務分担の確認を行っている。 | その日の活動の流れだけでなく、起こりうるトラブルも事前に想定し対応策を検討する必要がある。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援終了後は時間が少ない為、その日に気付いた内容を各個人でメモをとり、翌日そのメモを参考に振り返りを行っている。 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
|--------------|--------|--|-----|---------|--|---|
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 支援の記録は当日中に済ませるようにしている。記録は固定化した職員が行わないように分担して行っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 活動の中の順番決めやルール確認などの場面で、子ども達同士の話し合い活動や、意見を発表する場面を作っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | 各機関からの問い合わせには協力しているが、こちらから連携体制を整えるには至っていない。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 学校から毎週出される週報や、年間行事予定を確認している。また、必要時には学校へ直接電話連絡などで確認を行うこともある。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | | コロナ禍で交流を控えていた為、徐々に再開していけたらと検討中。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | 法人や、施設としては参加しているが、放デイとしては職員不足のため、積極的な参加とは言えない状況である。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | お迎えの際にご家族とコミュニケーションを取ることを大切にしている。 | 今後もご家族とコミュニケーションを取る機会を大切にしていきたい。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | | 研修の機会があれば、情報提供に努めていきたい。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 帰りのお迎えの際や、連絡帳に書かれた相談等に対応している。その他、気になるご家族様へは定期的に様子を確認するようにしている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | | コロナ禍で交流を控えていた為、徐々に再開していけたらと検討中。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 毎月1回お便り（このゆびとまれ）を発行している。 | HPやSNS等の活用体制は整っているとは言えない。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | コロナ禍で開催を控えていたが、今後は少しずつ開催を検討していきたい。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
|---------|--|---|-----|---|---------------------------------------|---|
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | 職員は会議等で内部研修を行っているが、ご家族様への周知ができていない。今後はご家族様へのお知らせの仕方も検討していきたい。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 施設内の看護師、栄養士とも情報を共有し対応している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | ○ | | ご家族様への周知を徹底していきたい。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 外部研修の案内があった際は必ず参加し、最新の情報にて内部研修を行っている。 | 虐待防止の為に、定期的な内部研修を行っているが、色々な職員が外部研修に参加することで意識を高めていきたい。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 身体拘束の必要な利用児さんはいませんが、内部研修を行い職員の意識を高めている。 | | |